

## ESD・SDGsの視点を取り入れた環境学習

奈良教育大学 教授 中澤静男

### 1. SDGsとESDについて

#### (1) SDGsとは何か：Sustainable Development Goals

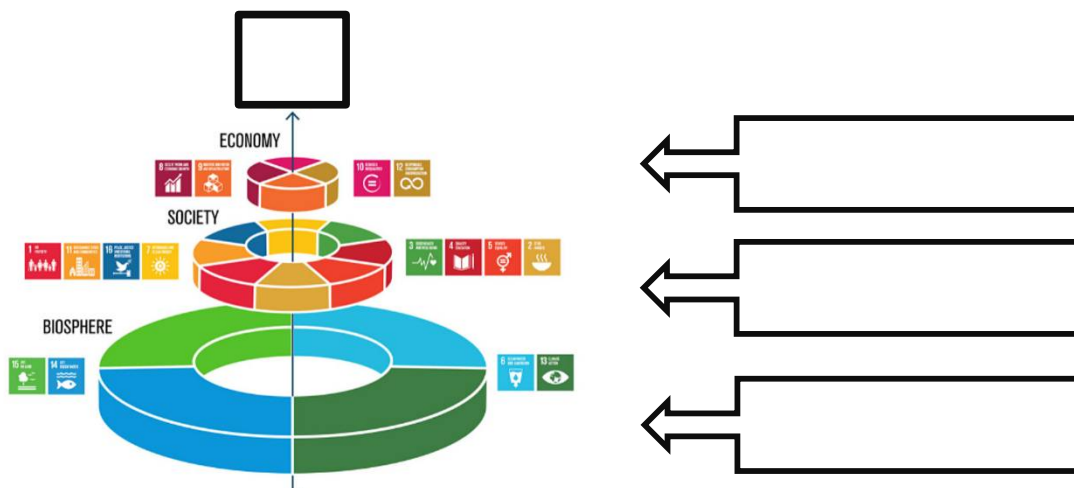
2015年9月 持続可能な開発サミットで「我々の世界を変革する／持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。※アジェンダとは行動計画です。

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

※Transformとは

このアジェンダの中心が「持続可能な開発目標（SDGs）で、2030年までの達成を目指す17の目標と169のターゲットからできています。（資料参照）

#### (2) SDGsがめざす社会：SDGsのウェディングケーキモデル



SDGs ウェディングケーキモデル図（レジリエンス研究所：ロックストローム）

#### (3) 今、なぜ、SDGsなのか

##### ①環境問題

- ・ 生きている地球指数 生物多様性の劣化
- ・ エコロジカル・フットプリント 人間活動による地球環境への負荷の増大
- ・ プラネタリーバウンダリー 地球に備わる生命維持システムの限界

##### ②国際問題（3つお書きください）

#### (4) ESDについて

ESD：Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）

学習者の価値観と行動の変革を促す教育

SDGs達成の必須要素

- ①国際協力、②技術革新、③新しいシステムの導入
- ④SDGsの重要性を理解し、能動的に参加・協力する多数の市民

← このような市民を育てるのがESDです

※持続可能な社会の創り手の育成が学習指導要領に明記。すべての学校で実施することに。

(5) 持続可能な社会の創りに育てたい価値観（学習者の価値観と行動の変革を促す教育）

日本だけでなく世界中のすべての場所で、今だけでなく将来の人々のために、自然環境や生態系の保全を重視する、また人権や文化を尊重する価値観を育てる。自分だけでなく周りの人々の、将来世代の人々の「幸福」を大切に育てる。 **CARE できる生徒を育てる**

- ①人に対するCAREとは
- ②モノに対するCAREとは
- ③コトに対するCAREとは

## 2. ESD・SDGsの視点を取り入れるとはどういうことか

- ①単元計画：学習者の価値観と行動の変革を促す学習計画になっているか
- ②環境課題の原因、解決方法について、多面的な考察を促す内容になっているか。
- ③体験的な学習、専門家などの「人と出会う」場面を適切に配置しているか
- ④終了後：児童生徒の行動変容をもたらすことができたか（但し、すぐに効果が見えるとは限らない）

### (1) 学校の授業と連携する際の配慮事項

#### ①授業などでの目標・評価の観点

- |              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| ・知識・技能       | 事実的知識                         |
| ・思考力・判断力・表現力 | 概念的知識 理由づけ（因果関係）、比較・共通点の抽出、選択 |
| ・学びに向かう力・人間性 | 判断的知識 ← ESDではここを大事に           |

#### ②授業で重要視していること

- ・思考力 答えを言わない、まとめない  
発問を繰り返す、生徒の回答はそのまま他の生徒に投げかけ、対話を促す  
生徒の回答に対しては、必ず言わせる
- ・学びに向かう力・人間性 学習して終わりではなく、そこがスタートとなるように

### (2) 教員と一緒に授業をつくる

- ・丸投げされない
- ・生徒の現状と目標とする生徒の姿を共有する（アンケートなど）
- ・体験的な活動を位置付ける → より深い理解
- ・指導者自身が生徒にとっての教材でもあることを自覚する

## 3. 単元構想案を作成する

- ・現在の生徒の実態があって、それを「このように変わってほしいという目標を設定し、そのためにうつつ立てが授業です。
- ・まず目標を設定し、「発展させる発問」を作る。
- ・生徒が学びたくなるように、インパクトのある導入を工夫する（動画、学校間交流が効果的）
- ・学びを深めるための発問を考える（これが難しいのでアドバイスをしあきましょう）。
- ・さまざまな場面への学びの転用を考えた場合、メタ認知力を高めることが重要：自己評価。

## 単元構想案

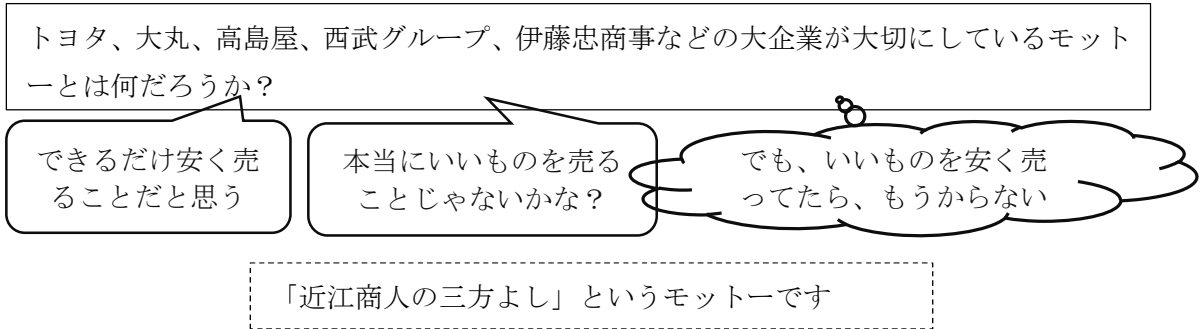
- ・単元名：グリーンコンシューマーになろう 中学2年生総合的な学習の時間

### (1) 単元の見積

- ・消費行動と環境問題の結びつきを具体的に理解することができる。(知識・技能)
- ・日常の消費行動において多面的に思考し、行動化することができる。(思・判・表)
- ・グリーンコンシューマーであることを自覚し、学びを生活に生かそうとする。  
(学態・人間性)

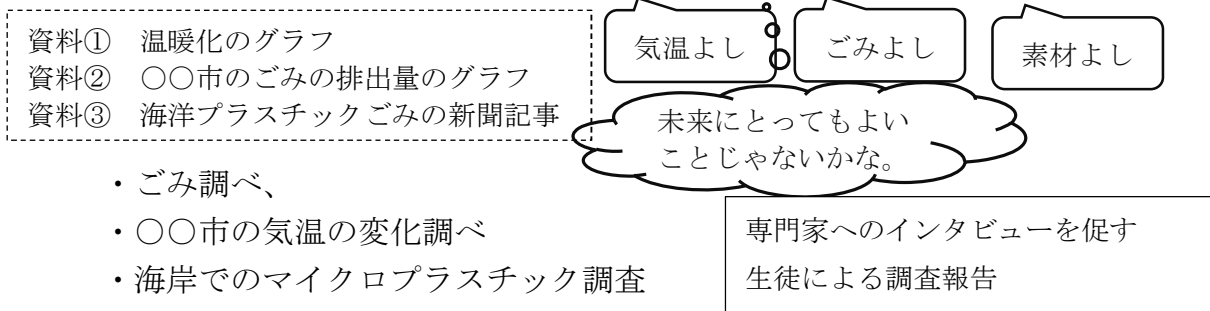
### (2) 単元展開の概要 (全3時間)

#### 【導入】



#### 【中心発問】(調査行動を促す、核となる発問)

現代の「近江商人の三方よし」とは何だろうか？「売り手よし、買い手よし、〇〇よし」



#### 【深める発問】(生徒のわかったつもりを揺さぶり、理解を深める発問)

このチラシの中で買わない方がいいものはどれだろうか？



#### 【発展させる発問】(生徒の行動化を促す発問) 具体的な生活場面を考える→行動化

グリーンコンシューマーとして、物を買うときに何に気を付けますか？

単元の評価について

①単元で自分が気づいたこと、学んだこと、これからしようと思うことなどの自己評価レポートを課し、評価する。

②5週間にわたって、買い物アンケート調査を行い、行動化を思い出させるとともに、行動化の定着を評価する。

(資料)

◇持続可能な開発目標 (SDGs) (出典：外務省仮訳)

- 目標 1 (貧困) : あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
- 目標 2 (飢餓) : 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
- 目標 3 (保健) : あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
- 目標 4 (教育) : すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
- 目標 5 (ジェンダー) : ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
- 目標 6 (水・衛生) : すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
- 目標 7 (エネルギー) : すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
- 目標 8 (経済成長と雇用) : 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する。
- 目標 9 (インフラ、産業化、イノベーション) : 強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
- 目標 10 (不平等) : 各国内及び各国間の不平等を是正する。
- 目標 11 (持続可能な都市) : 包括的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
- 目標 12 (持続可能な生産と消費) : 持続可能な生産消費形態を確保する。
- 目標 13 (気候変動) : 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
- 目標 14 (海洋資源) : 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
- 目標 15 (陸上資源) : 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
- 目標 16 (平和) : 持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度を構築する。
- 目標 17 (実施手段) : 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

【メモ欄】